

自衛隊記念日レセプション山田大使挨拶

皆様、こんにちは。

本日ここに、多数のご来賓の方々をお迎えし、自衛隊創設記念日を祝賀できることを大変嬉しく思います。ご臨席に心より感謝致します。

現在の国際情勢に目を向けると我々は不確実で不透明な時代を生きています。グローバルなパワーバランスが変化する中、根深い地域紛争、大量破壊兵器の拡散や国際テロの脅威、海洋や宇宙空間、サイバー空間といった国際公共財に関するリスクが増大し、一国のみの努力で国際社会や自国の安全を確保することができない時代を迎えております。この様な中、我が国は平和国家としての歩みを堅持しつつ、国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の立場から、国際社会の平和と安定にこれまで以上に積極的に寄与していく方針です。

そのためには、民主主義、法の支配といった基本的価値観を共有する伝統的友好国であるブラジルとの協力は極めて重要です。2014年の安倍総理訪伯時に、ブラジルとの安保・防衛分野における交流強化に合意して以降、両国の交流が大きく進展していることをうれしく思っております。この場を借りまして、貴国の安保・防衛関係者の我が国に対するご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

さて、今年はブラジルに日本人が移住を開始してから110周年の節目の年にあたります。今日両国が緊密な友好協力関係にあるのも、日本人移住者・日系人の方々が長年にわたりブラジルにおいて信頼を築いてきたことがあってこそです。そして、本日この場にも多くの日系軍人の皆様のご出席を頂いています。改めて皆様の日頃からのご活躍に敬意を表します。

安保・防衛分野での本格的な交流はまだ始まったばかりですが、日伯両国には強い絆があります。今後とも本日ご参加頂いている皆様を始めとした多くの方々のご理解とご協力を得ながら、安保・防衛分野においても両国はさらに素晴らしい関係を築いていけるものと確信しています。

最後に、本日ご列席の皆様にご改めて感謝を申し上げますとともに、両国の更なる関係強化により、共に国際社会の平和と安定に貢献していくことを祈念して、私の挨拶とさせていただきます。